

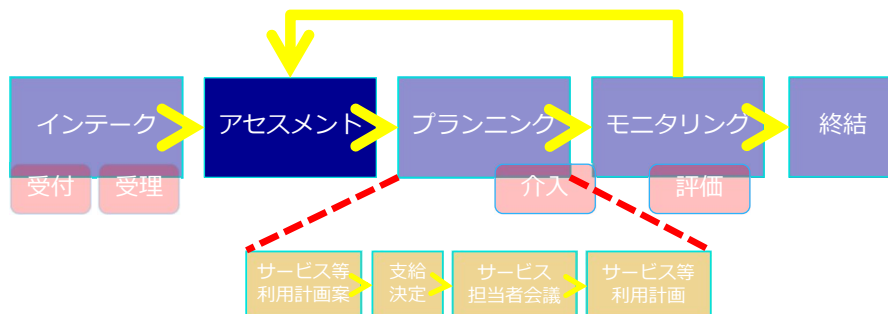
インターバル実習 説明資料

◎ニーズ整理表についての説明 （新カリキュラムから導入）

地域生活支援センター天花
藤田 利江

§2 アセスメント（情報の収集と分析）

演習1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術



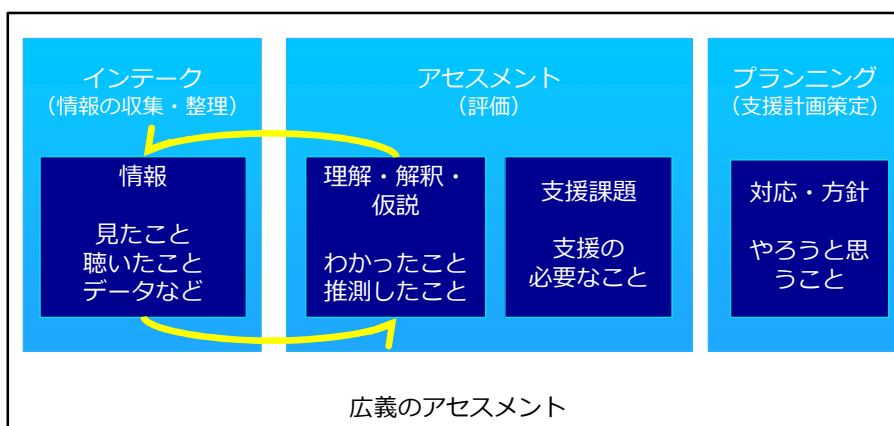
復習 アセスメントの留意点①

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

ニーズ整理

- ・ 本人の意思表示、客観的状況、支援者や周囲の判断を分けて考える。
(基本は本人の言葉や、選んだこと、好きなことから始まる)
- ・ **援助者（自分）の判断の根拠を可視化、言語化する。**

ニーズ整理



近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』

ニーズ整理票（例）

近藤直司
『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店）を改変 5

ニーズ整理票		アセスメント			プランニング
インテーク	情報の整理 (見たこと、聞いたこと、データなど：事実)	理解・解釈・仮説 (作成者の考えと仮説、解釈・推測)	理解・解釈・仮説の （専門的アセスメントや他者の解釈・推測）	支援課題 (支援が必要と判断する点)	対応・方針 (作成者が行うこと)
本人の表明している 希望・解決したい課題	（作成者の）おさえておきたい情報	生物的事実			
		心理的事実			
		社会性・対人関係の特性			
		本人			
		環境			

（今回大づかみに記入した本人像（100文字程度で要約する））

新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修)：SSA2018-2019(c) 不許複製

6

ニーズ整理のポイント

① 「見立て」ができるようになろう。

支援者自身が a. どのような情報を得て、b. どのような解釈をし、c. どのような方針をたてるか。

② アタマの中を整理できるようになろう。

- ・ 事実 本人の意思、客観的事実
- ・ 自分の考え 自分の解釈
自分の支援方針

普段自分のアタマの中で、同時並行処理していることを…可視化し、整理する

③ 「手だて（プランニング）」は一旦置いておこう。

対応から入らず、本人の言葉・本人の（深めた）理解からはじめる。

「見立て」のヒント

「黄色のべ●ザブロックください。」

アタマの中で、
何も思わない人
はいない

- ・薬を買いに来たのか！（事実の追認）
- ・鼻づまりなのかな？（症状の推測）
- ・風邪？アレルギー？（原因の推測）
- ・つらそうだ（観察）
- ・どれくらいつらいんだろう？（程度の疑問）
- ・病院には行ったのだろうか（治療の疑問）
- ・病院に行ったほうがいいのではないか（治療の疑問）
- ・病院に行く余裕がないのではないか（環境の推測）
- ・まずは症状を抑えたいのではないか（希望の推測）
- ・同様の薬を特売しているのでそちらを勧めよう。

「見立て」のヒント

「黄色のべ●ザブロックください。」

アタマの中で、
何も思わない人
はいない

- ・本人の主訴や様々な情報を手掛かりに
→ 根も葉もない推測は削除する。
→ 真実から遠い推測は削除する。
（前提として、そのために必要な情報を入手する）
- ・本人のゴールを確かめ（ともに作り）
→ 確かに本人の望んでいることは何なのかをつかむ。
- ・そのゴールの達成に必要な推測を続け、
確かなことを高めてゆく（根拠に基づく推測をする）。

ニーズ整理

インテーク (情報の収集・整理)		アセスメント (評価)	
情報 見たこと・聴いたこと・データなど	本人の希望 「黄色の べ●ザ ブロック くださ い。」	理解・解釈・仮説 ・風邪もしくはアレルギーではないか。 ・花粉アレルギーで、自分の状況はよくわかっていて、今年は医者に行きそびれ、市販薬を買いに来たのではないか。	支援課題 ・(過去にもこの薬を使ったことがあるか確認し)市販薬を販売する。 ・今年も受診をすすめる。
(支援者自身の)押さえておきたい事実 ・くしゃみと鼻水が2週間続きつらさが継続。 ・11月、秋花粉の時期 ・毎年こうなる ・他の症状はない ・毎年薬を出してもらっていた。			

ニーズ整理① 本人の希望をおさえよう

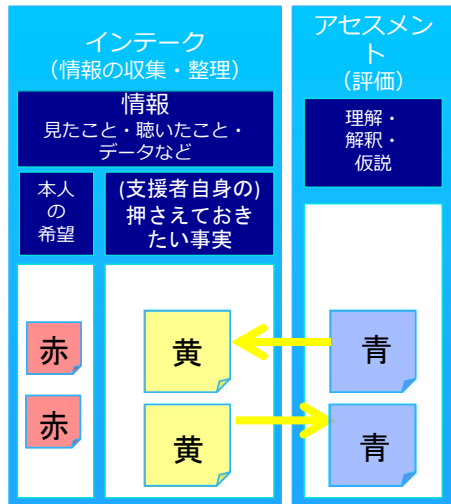
インテーク (情報の収集・整理)
情報 見たこと・聴いたこと・データなど
本人の希望 赤 赤

もう一度事例を読み込みます。

- ① 本人の意思や希望を**赤いふせん**に書き出します。
(そのままの言葉で)
★ 1項目に1枚のふせん

【再確認】

ニーズ整理② 「見立て」てみよう



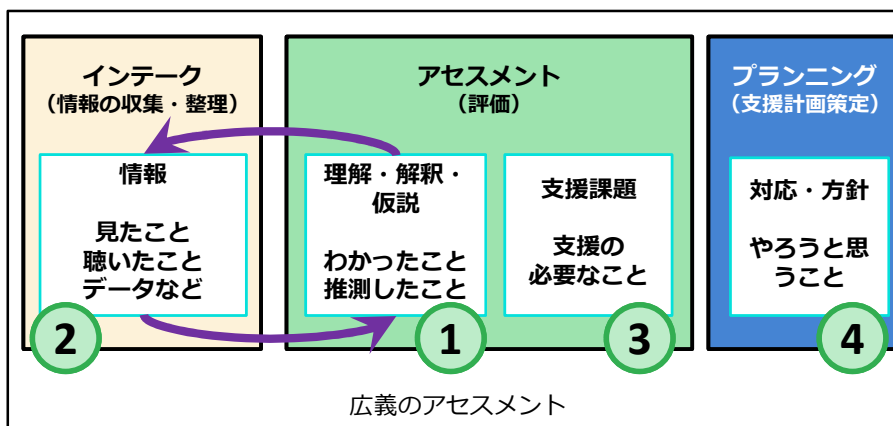
アタマの中で考えていることを可視化します。

①「もしかしたら〇〇かもしれない」というような仮説（理解・解釈）などを**青のふせん**に書き出します。

②（見たこと聞いたことの）事実や情報を**黄色のふせん**に書き出します。

ふせん1枚に1つ書いてください。

ニーズ整理の方法（1）

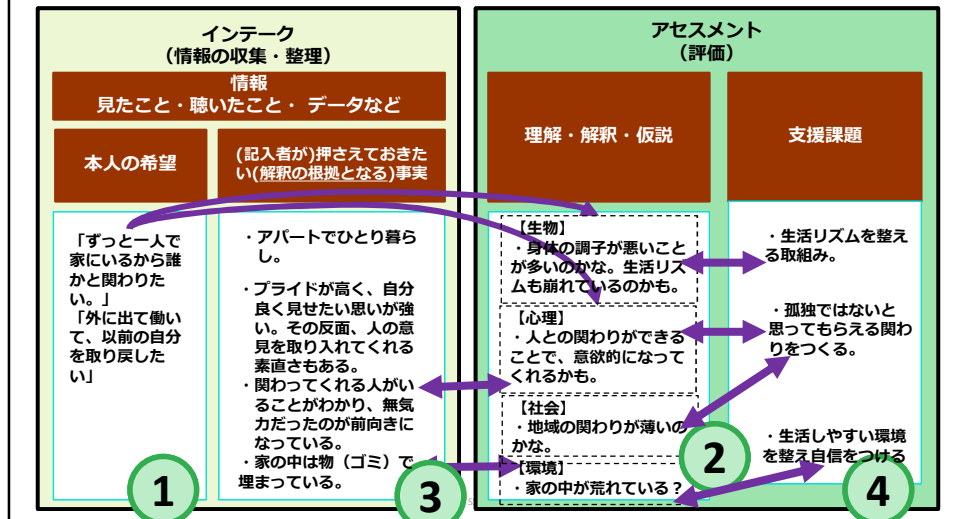


近藤直司

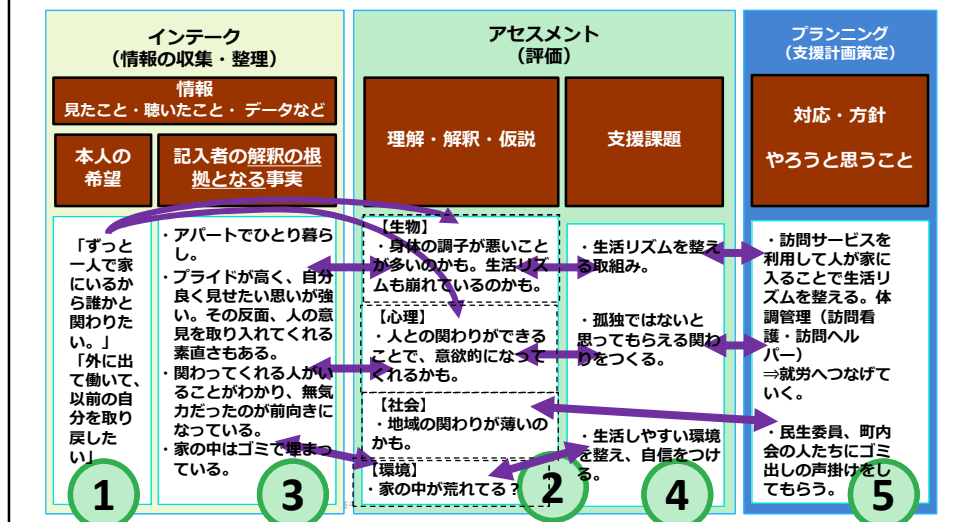
『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店）を改変

新カリキュラムに基づく相談支援従事者養成研修モデル研修(初任者研修), SSA2018-2019(c) 不許複製

ニーズ整理の方法（２）



ニーズ整理の方法（３）





インターバル実習の最大のねらいは

地域の相談支援事業所とつながる ことです！

受講生が相談支援専門員になった時に、
つながりを活かして仕事ができるように。
みなさんとのつながりが支えになります。